

多業種からの人材活用 中途採用者の定着と養成

社会福祉法人京都ライフサポート協会

理事長 樋口 幸雄

樋口 幸雄 (Higuchi Yukio) 社会福祉法人京都ライフサポート協会 理事長

▶ 略歴

重症心身障害児施設での勤務を経て、1983(昭和58)年京都府下で初のグループホームを開設運営(未制度時代含む)。障害者支援施設の施設長を経て、2001年社会福祉法人京都ライフサポート協会設立。5～6名単位の小規模、分棟型のユニット、職住分離を実現する『横手通り43番地「庵」』(障害者支援施設)の開設、運営にあたる。現在、公益財団法人日本知的障害者福祉協会会長。

▶ 研究歴

2018(平成30)年 厚生労働省障害者総合福祉推進事業「障害者支援施設のあり方に関する実態調査」 委員

2020(令和2)年厚生労働省社会福祉推進事業「潜在的福祉人材に関する調査」 委員

2020-2022(令和2-4)年公益財団法人日本知的障害者福祉協会「著しい行動障害のある人への支援に関する検討委員会」 委員長

2021(令和3)年厚生労働省政策総合研究事業「障害特性に対応した住居の構造等の類型化のための研究」協力委員

2022(令和4)年京都府社会福祉協議会「京都府社会福祉協議会が担う法人後見あり方検討会」 委員

2023(令和5)年厚生労働省社会福祉推進事業「企業等から福祉現場への人材供給に関する調査研究事業」検討委員会 委員長

2023(令和5)年厚生労働省社会福祉推進事業「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会」 委員

2024(令和6)年厚生労働省社会保障審議会障害者部会 委員

▶ 著書

発達障害白書(平成20年・平成22年)分担執筆

ノーマライゼーション・障害者の福祉(平成21年) 分担執筆

はじめて働くあなたへ(平成23年) 分担執筆 他

『はぐくむ・はたらく・豊かに暮らす』 創元社

医療福祉建築 2023/10 221号「地域の価値をあげる福祉施設であるために」

病院設備 2023/4 365号「障害者支援施設における『見守りシステム』の導入」他

社会福祉法人京都ライフサポート協会

—事業所—



■第1種社会福祉事業

事業名称	事業概要
横手通り43番地「庵」 あん'ずデイセンター（木津川市・京田辺市）	しょうがい者支援施設 生活介護

■第2種社会福祉事業

-しょうがい福祉サービス-

事業名称	事業概要
横手通り43番地「庵」	児童・（成人）短期入所
若杉	生活介護
工房グリーンフィールド	多機能（A型・B型、生活介護）
工房あんじゅ、アン・ドゥ	多機能（B型、生活介護）
レストラン庵樹	フランス料理店
児童デイサービス「あん」	児童発達支援・放課後等デイサービス
木の津ホーム、あん'ず京田辺、あん'ず三山木、 あん'ず若杉、あん'ず京田辺「わくわく」	共同生活援助
サポートステーション「あん」	居宅支援

事業名称	事業概要
しょうがい者生活支援センター「あん」	相談支援、特定・一般・児童
「あんじゅ」「あん'ずあん」	相談支援、特定・一般・児童
しょうがい者生活支援センター「若杉」	相談支援、特定・一般・児童

しょうがい者就業・生活支援センター「あん」

就労支援



レストラン 庵樹
restaurant anju



横手通り43番地「庵」
43 yokote-dori "an"



はたらく

日中の充実した仕事
-働いて得られる有用感



anju



有機農業
organic farming

wakuraku

暮らす

安心できる暮らしの場
-自立していると本人が自覚できる場



若杉
wakasugi

福祉で働く

社会福祉とは、出生前から老年期にかけて対象者の生涯に寄り添い、個人の人格と人権を擁護する理念の具体化、その国の文化を体現するものです。幸福のかたちは、皆違います。一人ひとりの望む暮らしを実現するために、十人十色、その人に合った支援方法を編み出すのが福祉の仕事です。

そのため、暮らしの豊かさを考えるためのより多くの視点が必要とされます。

● 「暮らし」を支える仕事

居宅介護、短期入所、日中一時支援、移動支援、行動援護、重度訪問介護、施設入所支援、共同生活援助

● 発達を支える仕事

児童発達支援センター、児童発達支援事業、医療型発達支援事業、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児入所施設、医療型障害児入所施設、居宅介護、短期入所

● 「日中の活動」や「はたらく」を支える仕事

生活介護事業、自立訓練、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援、就労定着支援

● ニーズをつなぐ仕事

特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援、障害者相談支援、地域定着支援、就業・生活支援センター

事業運営における主力人材

- 幅広いニーズに応えるためには、年齢・性別・国籍・障害の有無を問わず、全世代の方々の協力が必要。
- 介護や福祉サービスは誰もが経験する身近な「自分ごと」。家族介護の経験が契機となり、この分野への関心が芽生え転職を考えたという方が少なくない。
- 在職者の7割は入職してから障害福祉について学んだ方。在職10年以上の正規職員は、全員が国家資格を取得。

図 入職前の前職の割合 (n = 99)

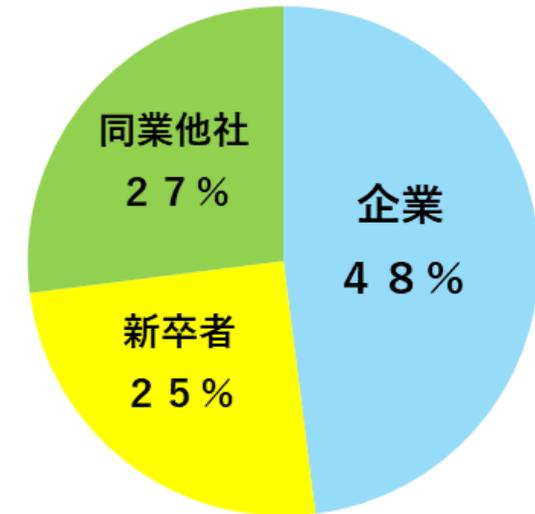


表1 京都ライフサポート協会の平均勤続年数・離職率

	職員退職者の平均勤続年数	職員在籍者の平均勤続年数	職員総人数の平均勤続年数	23年間平均退職率 (=離職率)
男性	7.0	13.2	12.1	2.8%
女性	5.0	15.0	13.5	3.3%
全体	6.0	14.2	12.8	3.1%

福祉業界の人材確保・定着のための三原則

環境	匂いのしない施設・事業所 清掃の徹底、整理整頓、利用者一人ひとりが尊重され職員が共感・納得できる施設環境 ICTの活用による負担軽減
専門性	福祉＝身体介護というイメージがあるが、知的労働という要素も大きい 専門性を重視し、よりよい支援を目指して職員同士が切磋琢磨する職場風土の醸成
風通し	職場内のコミュニケーション 家族や地域との絶え間ない交流



2002年一

施設入所 40名

生活介護 45名

JR棚倉 徒歩12分



あん‘ず若杉

- ・ 定員10名
- ・ 短期入所4床
- ・ 日中は他法人作業所通所



あん‘ず京田辺わくわく

- ・ 定員10名
- ・ 短期入所 2 床
- ・ 医療的ケア



あん‘ず三山木

- ・ 定員10名
- ・ 短期入所4床
- ・ 行動関連項目20点以上

共同生活援助（グループホーム） ・ 短期入所事業



- 遮音性 防災
- リフト付きの浴室あり

ライブ配信では、説明の最後に、シニア人材が実際に働いている様子を短い動画でご紹介します